



今年の夏は蚊に注意して下さい！

2014年は、デング熱は大阪ではなく東京で拡大したウイルスですが、2015年の夏、大阪中心に拡大するかもしれないニュースが流れました。というのもデング熱になるきっかけとなる「ヒトスジシマカ」が大阪の公園などで大量に捕獲されたという事があり、万が一デング熱のウイルスが日本に持ち込まれてしまった場合、デング熱が流行する恐れがあるとの事です。特に大阪ではLCCの拡大に伴い、大阪発着の飛行機が増え東南アジアへの入出国が増えてきている中で、さらに注意が必要になった。



デング熱とはどんな病気？

～蚊が媒介する感染症で、熱帯・亜熱帯を中心に世界100か国以上で発生

デング熱は、潜伏期間があり、2日から15日程とされています。多くの場合は3日から一週間程度が潜伏期間となっているようですね。潜伏期間ののち、全身の筋肉痛、突然の高熱、頭痛、発疹などが主な症状となります。感染しても、発症しない事も結構あるのが、デング熱の特徴とされます。



どのようにして感染するの？

～デング熱を発症した人の血を吸った「ヒトスジシマカ」によって感染が広がります

デングウイルスは、デングウイルスに感染した蚊に刺されることによって感染します。デング熱を発症した人が蚊に刺されると、その蚊にウイルスが移り、その蚊がほかの非感染者の血を吸う際に吸われた人の体内にウイルスが移ることによって感染が広がっていきます。人から人へ直接感染することはありません。




デング熱を防ぐには？

～蚊に刺されないこと、蚊の発生源をなくすこと



<対策>蚊に刺されない

ヒトスジシマカが活発に活動する日中に、屋外で活動する場合には、できるだけ次のような対策をして蚊に刺されないようにしましょう。

- ・肌を露出しない長袖、長ズボンを着用する
- ・素足でのサンダル履きを避ける
- ・白など薄い色のシャツやズボンを選ぶ（蚊は色の濃いものに近づく傾向がある）
- ・露出する部分には**虫除けスプレー**を使い、蚊を寄せ付けないようにする
- ・蚊取り線香などを使って蚊を近づけない

虫除けスプレー

成分にディートを含むものが有効である
※子供の使用は仕様書確認





こんな人は蚊に刺されやすい！

- ・O型（刺されやすい順にO>B>AB>A） ※多い傾向にある程度
- ・体温が高い人（蚊は温かいものに寄ってくる性質がある）
- ・暗い色の服を着ている人、色黒の人
(蚊は明るい色に集まってくるイメージがあるが実は暗い色を好みます)
- ・妊娠中の人（呼吸が多く体温が高いのが理由）
- ・ストレスがなく代謝が良い人（蚊は人間がストレスを感じた時に出す物質を嫌います）
- ・運動後や飲酒した時、入浴後
(蚊が人や動物に近づくのは、呼気に含まれる二酸化炭素や汗に含まれる乳酸に反応するため)